

5月2日（木曜日）ハナショウブが生き生きと

【参加者：梶川、北、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明

計6名】



株分けした後、手を付けずにいた花菖蒲園の草刈りと土で塞がれていた水路の整備をした。刈り払い機では刈れないので鎌で草を刈り、水がいきわたるようにスコップで土をあげていった。ハナショウブは元気を取り戻した。6月には、去年と同じようにきれいな花をたくさん咲かせてくれそうである。

5月9日（木曜日）湿性植物園のハナショウブも

【参加者：池本、梶川、北、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、鈴木明 計8名】

3月に移植した湿性植物園のハナショウブが草の中に埋もれてきており、ハンノキの小苗も目立ってきたので、目印の竹を立ててあるハナショウブの株に気を付けて草刈りを行った。目印の周りは鎌を使って手で刈り、それ以外のところは刈り払い機で刈っていった。誤って花菖蒲を伐ってしまい「あっ！ごめん！」の音が聞こえる心痛む瞬間もあったが、草が刈られ、現れた小さな株はこれからぐんぐん大きくなっていくだろう。



5月16日（木曜日）モリメイトフィールド周辺の草刈り

【参加者：梶川、北、芝田香、中、計4名】

草刈りの予定でモリメイトフィールドに向かった。野山は眩しいほどの新緑が輝いており、この中で過ごす贅沢さを心に刻み込んで作業を始めた。

4名が刈り払い機を持ってそれぞれの持ち場へ。中さんは第1回目の「クヌギの森作り」周辺へ、梶川さんは「せせらぎロード」から境界に沿って、北さんはクヌギ広場、芝田さんはカブトムシの森からモリメイトフィールドへ向かう道の周辺で作業。そよ風はあったが作業をしていると汗が噴き出してきた。無理のないようにマイペースで休憩しながら午後2時まで作業を続けた。

中さんが作業をしている第1回目に「クヌギの森作り」の場所では5年前に植えたクヌギの多くが順調に育ち、2メートル以上にも成長していたが3本ほど枯れていた。また、湿地に近い場所では成長が遅れていることも確認できた。水はけのよい土地でないとクヌギは育たないと言われている通りだった。



5月23日（木曜日）

モリメイトフィールド周辺の整備・モリメイト会議

【参加者：池本、梶川、北、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明 計7名】



5月だというのに気温は30度近くまで上がり真夏の暑さであった。

先週に引き続きモリメイトフィールド周辺の草刈りと花菖蒲園の手入れを行った。熱中症予防に十分気を付け、木陰での休憩と水分補給をしながら、男性陣は刈り払い機でモリメイトフィールド周辺の草刈り、女性陣は鎌で花菖蒲園の草刈りを進めていった。

2時からのモリメイト会議では、主に、交流を続けている鈴鹿グループが5月25日に行う「岸岡山公園ビートルズベッド作り」に参加するための打ち合わせを行った。

5月25日（土曜日） 岸岡山緑地公園の作業に参加

【参加者：池本、梶川、北、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、鈴木明 計8名】



岸岡山緑地公園は、海に近く温暖なところで、照葉広葉樹が多く雑木がうっそうと茂っていた。そのため光が届かず園内は薄暗く、樹下には枯れた枝葉が散らばっていた。

この日は、「この公園を住民の憩いの場所に」と立ち上げた「岸岡モリメイト」の発足式に参加し、初めての作業「ビー



トルズベッド作り」と森林整備の手伝いをした。

今後もお互いの森林環境を良くするための交流を続けていきたいと考えている。

5月30日（木曜日）境界線巡りと道整備

【参加者：池本、梶川、北、芝田香、芝田美、鈴木哲、中、鈴木明 計8名】

森林公園の境界線を地図を見ながら歩き、道の状況や危険な個所を確認していった。

5年ほど前に境界線をめぐりながら草刈り、除伐などをして整備したが、草木が生え、道が分からない箇所も数か所あり、整備作業をする必要があることを確認した。

午後からは、モリメイト主催の「里山講座」で作った道の整備を行った。100mほどの坂道は思っていたほど荒れておらず、1時間ほどの草刈り作業で道は復活。来週、道にはみ出した木の枝の整備、除伐、草刈りなどを行うことにした。

